

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社

コード番号 5440 URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣富 靖以

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社経営企画部長 (氏名) 増田 晶紀 TEL 06-6346-5221

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	155,538	△14.9	9,941	63.4	9,996	54.2	7,861	93.8
2023年3月期第2四半期	182,838	28.6	6,084	8.7	6,482	△2.4	4,057	19.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 12,219百万円 (△3.4%) 2023年3月期第2四半期 12,643百万円 (51.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	180.88	—
2023年3月期第2四半期	93.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	349,519	199,560	54.3
2023年3月期	337,713	190,174	53.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 189,700百万円 2023年3月期 179,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	65.00	80.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	65.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 詳細は、本日開示しております「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
 2023年3月期の期末配当には、創立75周年記念配当5円が含まれております。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	324,000	△8.9	20,000	35.0	19,000	29.5	13,000	△0.8	299.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細は、本日開示しております「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	44,898,730株	2023年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,439,755株	2023年3月期	1,439,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	43,458,975株	2023年3月期2Q	43,458,975株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、社会経済活動が正常化する中、個人消費や設備投資が持ち直し、緩やかに回復しました。世界経済においても、金融引き締めや物価上昇などによる景気の下押しリスクを抱えつつ先行きが不透明ながらも、全体として回復基調で推移しました。こうした中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は前年同期対比27,300百万円(14.9%)減収の155,538百万円、連結営業利益は同3,857百万円(63.4%)増益の9,941百万円、連結経常利益は同3,514百万円(54.2%)増益の9,996百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同3,804百万円(93.8%)増益の7,861百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、国内の建設需要は底堅く推移し、製品出荷量は前年同期対比1.5万トン増の78.9万トンとなりました。鉄スクラップ価格は4月以降弱基調で推移し前年同期対比5.2千円(9.3%)下落しましたが、製品価格については引き上げと維持に努めたことで前年同期対比6.5千円(6.5%)上昇したため、売買価格差(製品価格と原材料価格の差額)は11.8千円(27.0%)拡大しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比4,314百万円(5.7%)増収の80,132百万円、営業利益は同7,405百万円(148.1%)増益の12,405百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門については、ベトナム及び北米(米国・カナダ)にて鉄鋼事業を展開しており、いずれも決算期は12月です。

ベトナムでは、前年下期からの不動産および建設不況が継続する中、各拠点において新規顧客への拡販やコスト削減の徹底などに努めましたが、競合環境も厳しく、業績は低調に推移しました。

北米においては、建設需要は好調であったものの、第1四半期の定期修繕や老朽化に伴う設備トラブルの影響によるコスト増などにより、業績は低調でした。

以上の結果、売上高は前年同期対比31,013百万円(30.8%)減収の69,819百万円、営業損益は2,296百万円の損失(前年同期は597百万円の営業利益)となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、廃棄物処理の需要は底堅いものの、当社グループ最大の処理拠点である山口事業所の大規模な定修工事に伴う一時的な荷止めの影響、新型コロナウイルス感染症の鎮静化に伴う医療廃棄物処理案件の減少などにより、売上高は前年同期対比666百万円(17.3%)減収の3,174百万円、営業利益は同490百万円

(56.6%)減益の375百万円となりました。

④ その他の事業

当事業部門については、ベトナムでの港湾事業や国内及びベトナムでの鋳物事業などを行っています。売上高は前年同期対比64百万円(2.7%)増収の2,413百万円となり、営業利益は8百万円(前年同期は146百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3,159百万円(1.5%)増加し、213,749百万円となりました。これは、売掛金が6,285百万円、電子記録債権が8,287百万円増加し、現金及び預金が8,926百万円、原材料及び貯蔵品が2,382百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8,648百万円(6.8%)増加し、135,770百万円となりました。これは、建物及び構築物が632百万円、機械装置及び運搬具が929百万円、土地が872百万円、有形固定資産その他が2,431百万円、投資有価証券が2,171百万円、退職給付に係る資産が506百万円、繰延税金資産が602百万円、投資その他の資産その他が548百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11,806百万円(3.5%)増加し、349,519百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3,199百万円(3.2%)増加し、102,834百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4,674百万円、電子記録債務が810百万円、未払法人税等が2,817百万円、賞与引当金が696百

万円増加し、短期借入金が2,949百万円、流動負債その他が2,869百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて779百万円（1.6%）減少し、47,125百万円となりました。これは、繰延税金負債が286百万円、退職給付に係る負債が376百万円増加し、長期借入金が1,482百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,420百万円（1.6%）増加し、149,959百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて9,386百万円（4.9%）増加し、199,560百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を7,861百万円計上し、その他有価証券評価差額金が951百万円、為替換算調整勘定が3,647百万円、退職給付に係る調整累計額が296百万円増加した一方で、非支配株主持分が627百万円、利益剰余金の配当により2,825百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.2%から54.3%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて10,166百万円減少し、22,254百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,879百万円の収入となりました。収支の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益10,016百万円、減価償却費4,784百万円、売上債権の増加額12,180百万円、棚卸資産の減少額5,347百万円、仕入債務の増加額4,843百万円、未払消費税等の減少額968百万円、利息の支払額2,086百万円等によります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,006百万円の支出となりました。収支の主な内訳は、定期預金等の預入による支出26,753百万円、定期預金等の払戻による収入26,318百万円、有形固定資産の取得による支出5,905百万円等によります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、12,883百万円の支出となりました。収支の主な内訳は、短期借入金の純減額7,836百万円、長期借入金の返済による支出2,105百万円、配当金の支払額2,824百万円等によります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結会計期間以降（下期）の国内鉄鋼事業については、2023年度の住宅着工戸数は資材高などによる建設コストの高止まりから前年度対比で微減となる見通しですが、企業の投資意欲は引き続き堅調であり、国内鋼材需要は横ばいで推移するものと思われれます。製造コスト、物流コストの上昇が見込まれますが、鉄スクラップ価格が想定を下回る水準で推移する見通しであることから、売買価格差が拡大し、業績は計画を上回る見通しです。

海外鉄鋼事業については、ベトナムで建設需要の低迷と競合環境の激化が下期も継続するものと予想されることから、同国拠点の業績は低調に推移する見通しです。製造コストの削減や営業戦略の見直しなどにより収益の回復に努めます。北米は、景気後退リスクが懸念されながらも堅調な建設需要が想定されます。米国拠点の業績は、8月に発生した火災事故の影響などにより、計画を下回る見通しですが、カナダ拠点は回復基調で推移する見通しです。海外鉄鋼事業全体としては、下期の業績は計画を下回る見通しです。

なお、米国のピントン・スチール社は、現地時間8月1日に発生した火災事故により約1ヶ月間操業を停止し、製鋼工場は9月9日（日本時間9月10日）、圧延工場は同10日（日本時間11日）に再開しました。この事故の影響として、復旧に伴う費用増などが見込まれることから、特別損失約10億円を織り込んでいます。

このような情勢を踏まえ、2023年7月31日の「2024年3月期 第1四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想を変更いたします。また、配当予想につきましても、期末配当を増配することといたします。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,746	48,820
受取手形	725	543
売掛金	60,539	66,825
電子記録債権	20,092	28,379
商品及び製品	37,040	37,373
原材料及び貯蔵品	30,476	28,094
その他	4,266	4,045
貸倒引当金	△293	△330
流動資産合計	210,591	213,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,754	25,387
機械装置及び運搬具（純額）	41,312	42,241
土地	31,187	32,059
その他（純額）	4,941	7,372
有形固定資産合計	102,194	107,058
無形固定資産		
のれん	829	870
その他	3,164	3,100
無形固定資産合計	3,993	3,969
投資その他の資産		
投資有価証券	14,065	16,237
長期貸付金	243	222
退職給付に係る資産	3,983	4,489
繰延税金資産	731	1,333
その他	1,949	2,497
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	20,936	24,742
固定資産合計	127,123	135,770
資産合計	337,713	349,519

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,370	21,044
電子記録債務	2,623	3,433
短期借入金	58,342	55,393
1年内返済予定の長期借入金	4,235	4,255
未払法人税等	1,604	4,422
賞与引当金	966	1,662
その他	15,494	12,625
流動負債合計	99,635	102,834
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	26,960	25,478
繰延税金負債	3,636	3,923
再評価に係る繰延税金負債	2,394	2,394
退職給付に係る負債	3,344	3,720
その他	1,570	1,611
固定負債合計	47,904	47,125
負債合計	147,539	149,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	19,716	19,716
利益剰余金	125,499	130,535
自己株式	△1,700	△1,700
株主資本合計	162,030	167,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,190	3,141
繰延ヘッジ損益	109	191
土地再評価差額金	4,536	4,536
為替換算調整勘定	7,559	11,206
退職給付に係る調整累計額	3,264	3,560
その他の包括利益累計額合計	17,657	22,634
非支配株主持分	10,487	9,860
純資産合計	190,174	199,560
負債純資産合計	337,713	349,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	182,838	155,538
売上原価	167,323	135,555
売上総利益	15,515	19,983
販売費及び一般管理費	9,430	10,042
営業利益	6,084	9,941
営業外収益		
受取利息	322	518
受取配当金	169	215
持分法による投資利益	574	1,188
その他	350	245
営業外収益合計	1,415	2,166
営業外費用		
支払利息	857	1,937
為替差損	58	106
その他	103	68
営業外費用合計	1,017	2,111
経常利益	6,482	9,996
特別利益		
固定資産除売却益	46	18
受取保険金	—	122
特別利益合計	46	140
特別損失		
固定資産除売却損	157	118
その他	1	2
特別損失合計	158	120
税金等調整前四半期純利益	6,370	10,016
法人税等	2,394	3,545
四半期純利益	3,976	6,471
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△81	△1,390
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,057	7,861

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,976	6,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	951
繰延ヘッジ損益	223	83
為替換算調整勘定	8,168	4,417
退職給付に係る調整額	267	296
その他の包括利益合計	8,668	5,748
四半期包括利益	12,643	12,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,997	12,838
非支配株主に係る四半期包括利益	1,646	△619

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,370	10,016
減価償却費	4,525	4,784
のれん償却額	50	52
引当金の増減額 (△は減少)	57	712
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	763	373
持分法による投資損益 (△は益)	△574	△1,188
固定資産除売却損益 (△は益)	111	100
受取保険金	—	△122
受取利息及び受取配当金	△491	△733
支払利息	857	1,937
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,294	△12,180
棚卸資産の増減額 (△は増加)	346	5,347
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,907	4,843
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,205	△968
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△636	△552
その他	△1,042	△1,028
小計	△3,659	11,392
利息及び配当金の受取額	514	842
利息の支払額	△815	△2,086
保険金の受取額	—	416
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	523	△1,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,438	8,879
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△12,731	△26,753
定期預金等の払戻による収入	23,090	26,318
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
貸付けによる支出	△1	△303
貸付金の回収による収入	245	56
有形固定資産の取得による支出	△3,667	△5,905
有形固定資産の売却による収入	20	12
無形固定資産の取得による支出	△369	△142
その他	△41	△285
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,543	△7,006
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,659	△7,836
長期借入れによる収入	5,000	—
長期借入金の返済による支出	△3,087	△2,105
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,208	—
配当金の支払額	△1,086	△2,824
非支配株主への配当金の支払額	△24	△8
その他	△101	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,153	△12,883
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,558	843
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,816	△10,166
現金及び現金同等物の期首残高	27,210	32,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,026	22,254

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサ イクル 事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	75,818	100,832	3,840	180,489	2,349	—	182,838
外部顧客への売上高	75,818	100,832	3,840	180,489	2,349	—	182,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	—	191	195	500	△694	—
計	75,822	100,832	4,031	180,684	2,848	△694	182,838
セグメント利益又は損失(△)	5,000	597	865	6,463	△146	△232	6,084

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、土木資材販売業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△232百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△264百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内 鉄鋼事業	海外 鉄鋼事業	環境リサ イクル 事業	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	80,132	69,819	3,174	153,126	2,413	—	155,538
外部顧客への売上高	80,132	69,819	3,174	153,126	2,413	—	155,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	234	235	388	△624	—
計	80,134	69,819	3,408	153,361	2,801	△624	155,538
セグメント利益又は損失(△)	12,405	△2,296	375	10,484	8	△552	9,941

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、土木資材販売業、保険代理店業等です。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△552百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。